



川を歩いてみよう！

危ない場所では説明をよく聞いてね！

歩くぞ～！

思いっきり泳ぐぞ！

小さい子はお母さんと！

講師：妹尾優二さん

川遊びは楽しいけど危険もいっぱい。しっかり準備運動をしてから、まずは川や川原を歩いてみます。歩きにくさや流れの速さなど、川の特徴を体で感じました。



流されてみよう

簡単なようで意外とドキドキします

力を抜くと上手に浮かべるよ！

石がゴロゴロで歩きにくいよー

川原を歩く

川に慣れたところで、今度はライフジャケットを着けて人ずつ川に浮かんで流されてみます。この体勢はとても大事。川で溺れた時もあわてずに浮くことが大事なのです。



水が冷たくて冷えちゃった

ココアで暖まります

休憩タイム

大きな淵に向かって流れよう

今度は長いよ！

ボート遊び 出発！

足がつかない～

北海道の川は夏でも水が冷たい。暖かいココアで休憩した後は、下流の大きく深い淵に向かって流れました。



淵で泳いでみよう

せおっち 船外機登場！

ボート漕ぎも体験！

泳ぎも上手に！

浮かぶのにも慣れたかな？

深い淵では自由に泳いだり、ボート遊びをしたり思いっきり川遊びを楽しみました！足がつかないほどの深い淵ですがライフジャケットのおかげで安心して泳げました。



ボートから飛び込みも！

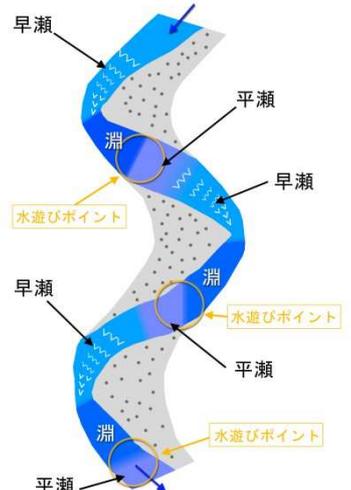
楽しかったかな？

川の流れ 自然の川で水遊びをする時は、事前に川の形をよく観察しましょう。自然の川は多くの場合、「早瀬」「淵」「平瀬」の3つの組み合わせにより構成され、それが連続することで流れています。

- ①早瀬・・淵の上流側にあり、流れが早い場所。淵に注ぎ込む。
- ②淵・・早瀬の流速が吸収される場所。流れが最も遅く、深い。
- ③平瀬・・淵の下流側にあり、流れが緩く浅い場所。

自然の川では淵で流速が緩和されるため、その下流側は土砂が堆積し、水深の浅い平瀬が形成されます。川で水遊びをする時は、淵の下流部～平瀬にかけて場所を選ぶことが最も安全でオススメです。逆にこのような平瀬が見られず、水が一樣に流れている川は「水遊びには不適」と判断すると良いでしょう。

コラム おやし



発行・お問合せ 自然ウォッチングセンター

〒005-0005 札幌市南区澄川5条10丁目4-16 Tel: 011-583-5208 Fax: 011-583-5233
E-mail: wanpakuasobitai@tea.ocn.ne.jp URL: http://homepage2.nifty.com/watching/

編集 よね